

令和 年度 うるま市教育支援調査票(保護者用)(代筆 : 続柄 )

ふりがな		性別	ふりがな 保護者名	印	続柄
氏名			生年月日	年 月 日	歳 か月
住所	〒 _____ うるま市				
施設名		担任名			
現学級	通常保育 ・ 個別支援保育(加配) ・ その他 ( ) ※該当する内容を○で囲んでください。その他には、家庭保育・児童デイ等が入る				
入学予定校	現住所からの入学予定校を記入してください(校区内小学校)・指定校変更を予定している場合は、予定校も記入してください				
家族構成	※ 1. 祖父 2. 祖母 3. 父 4. 母 5. 兄 ( 人) 6. 姉 ( 人) 7. 弟 ( 人) 8. 妹 ( 人) 9. その他 ( 人)				
依頼理由					
子どもの実態 ※あてはまるもの全てに ☑を記入して下さい	食事	□ほぼ自立 □お箸がうまく使えない □スプーン・フォークがうまく使えない □食事の間座ってられない □偏食(あり・なし) □除去食 ( ) □全面介助 □その他 ( )			
	着脱	□ほぼ自立 □ボタンを閉めるのに手間取る □服をたたんだり片付けたりすることが難しい □その他 ( )			
	排泄	□自立 □時々おもらしがある □定時排泄が必要 □排便の後始末ができない □その他 ( )			
	運動・動作	□歩行(可能・不能) □体全体を使う動作やジェスチャーにぎこちなさがある □はさみを使う、ひもを結ぶなど細かい作業が苦手 □特定の音や光に過敏に反応する □その他 ( )			
	意思の伝達 言葉	□不自由なく対話ができる □オウム返しがある □言葉のキャッチボールが難しい □発音や滑舌に課題がある □話す時、視線が合わない □話の内容や指示の理解が難しい □その他 ( )			
	交友 遊び きまり	□新しい場面への適応が難しい □集団活動が苦手 □順番が守れない(並ぶ等) □その時の場面や相手の感情、立場を理解することができない。 □その他 ( )			
	行動の特性	□危険回避ができない(具体的に: ) □落ち着きがない □多動である □他人を傷つけることがある □自傷行為がある □教室からの飛び出しがある □発作的にパニックになることがある □奇声を発する □感情のコントロールができない □こだわりが強く、急な変更や変化に対応できない □興味のないこと、苦手なことに取り組むことが難しい □常同行為がある □その他 ( )			
	疾病・診断名		診断日	年 月 日	
保護者の意見	□特別支援学校(盲・聾・知的・肢体不自由・病弱) □ _____ 援学級(知的・自閉情緒・肢体不自由・難聴・言語・その他) ( ) □ <b>一つをチェック</b> 語・発達障害(LD/ADHD等) □通常学級				
配慮・特記事項	障害者手帳(療育・身体・精神等) 【有・無】 / 医療的ケア【有・無】				

令和 年度 うるま市教育支援調査票 (幼児教育施設等用) (取り扱い注意)

学校・園 等 \_\_\_\_\_

施設長 \_\_\_\_\_ 印

ふりがな		性別	ふりがな 保護者名	
氏名			生年月日	年 月 日 歳 か月
住所	〒 _____ うるま市			
施設名		担任名		
現学級	通常保育 ・ 個別支援保育(加配) ・ その他 ( ) ※該当する内容を○で囲んでください。その他には、家庭保育・児童デイ等が入る			
園・所 における 子どもの 実態	食事			
	着脱			
	排泄			
	運動・動作			
	意思の伝達 言葉			
	交友 遊び きまり			
	行動の特性			
	疾病・診断名		診断日	年 月 日
園内教育支援委員会の結果	<input type="checkbox"/> 特別支援学校 ( 盲 ・ 聾 ・ 知的 ・ 肢体不自由 ・ 病弱 ) <input type="checkbox"/> 小・中学校の特別支援学級 (知的・自閉情緒・肢体不自由・難聴・言語・その他 ) <input type="checkbox"/> 通級指導教室 ( 言語 ・ 発達障害 (LD/ADHD 等) ) <input type="checkbox"/> 通常学級			
結果に至った根拠	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 20px;"> <p>園内教育支援会で 出された根拠を 記入してください。</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>1年生は1日5校時の学習時間があります。 その中で個別の対応を何校時分 必要かを考えます。 例)1日5校時の中で「3校時分」個別支援が必要である場合 →1日3時間×5日=15時間 と考えます。</p> </div> <p style="text-align: right;">↓</p> <p>※特別支援学級・通級指導教室での学習を必要とする時間 (1週間当たり 時間)</p>			
配慮・特記事項 保護者との連携等				